

第15回睡眠歯科学会 シンポジウム1の公募案内について

1、口腔内に用いる各種治療法に対する-Propros & Cons-

「OSAに対する口腔内装置は一体型か分離型か？-Pros & Cons-

(はじめに)

OSAに対する口腔内装置(OA)は、軽症(AHI \geq 5)以上の症例に広く適応され、First Lineである経鼻的持続陽圧呼吸(nCPAP)に替わる治療となることも多い。そして、多くの施設では下顎前方移動型(Mandibular Advancement Device :MAD)を用いているが、一体型や分離型などその形態は各施設で異なる。そこで本シンポジウムはMADの一体型と分離型双方の利点・欠点を講演いただき、会場の参加者全員へ意見を求める新たな方式で行う。

(シンポジウムの趣旨・実行)

本シンポジウムでは、MADの一体型か分離型の意見を戦わせるセッションであるが、どちらにも利点・欠点があり、どちらが良いかを決定するものではない。意見を交わすことで、他の睡眠歯科医がどのような意図でMADを作製しているかを知り、そこから新たな選択肢の発見や明日の臨床に活かせる工夫を見出すことが趣旨となる。実際には一体型、分離型の講演の合間にモデレーターから以下のようなスライドで会場に質問(約10問程度)を行い、参加者は予め配布してあるボード(5色)を挙手していただく。ここで集計は行わず、なんとなく多いか少ないかで判断する。選択肢には稀になりそうなものを含み、極少数の場合は会場参加者に直接意見を求める。

問1、あなたの歯科医院でOA(MAD)は？

- 赤 a, 一体型
- 青 b, 分離型
- 黄 c, TRDのみ
- 緑 d, 一体型と分離型の両方
- 白 e, 一体型、分離型、TRDを使い分けている。

モデレーター 佐藤 一道 東京歯科大学オーラルメディシン口腔外科
有坂 岳大 太田睡眠科学センター・睡眠外科学センター
モデレーター投票時間 + デスカッション 15分

講演1 一体型 OA の利点、欠点、実際 : 公募

講演2 分離型 OA の利点、欠点、実際 : 公募

(講演は各 20 分)

☆演者の応募要項と条件

- 1、演者は一体型と分離型の OA に関して各1名の公募とする。
- 2、内容は1例報告ではなく、効果判定 (PSG または簡易検査)、OA 位置決定、患者背景やアンケート結果などデータの提示が可能であること。
- 3、MS Word で作成した 800 文字以内の抄録を提出いただき、本大会の準備委員会にて選出とする。(演者の選出に関しては本会の準備委員会に一任いただきますので御了承ください。また、本シンポジウムに選考されなかった演題は一般演題として発表いただきます。)
- 4、抄録の書式は一般演題と同じフォームをホームページ (<http://>) よりダウンロードしご使用ください。
- 5、締め切りは9月30日 正午まで
- 6、提出先は下記の学会事務局宛に E-mail (jadsm15@jadsm.co.jp) へ作成した抄録を添付・送信ください。

※本シンポジウムの趣旨をご理解いただき演題の登録をお願い申し上げます。

第15回 日本睡眠歯科学会総会・学術集会

大会長 外木 守雄

準備委員長 佐藤 貴子

事務局担当 藤井 貞和

E-mail: jadsm15@jadsm.co.jp